

職業研究

2023

No. 1

特集 ●中学校における職業レディネス・テスト活用の実例

中学校における職業レディネス・テストの効果的な活用

早稲田大学大学院教育学研究科 教授 三村隆男

活用事例

事前にVRTを実施し、仕事体験を充実させる

川崎市立麻生中学校

職場体験に向け、VRTを使って

様々な職業があることを知る

東村山市立東村山第四中学校

将来への展望を持つことにつながる

「職業への気づき」を

町田市立南大谷中学校

VRTからスタートする

中高一貫校でのキャリア教育

立教池袋中学校・高等学校

キャリア教育プログラムと

連動させた活用

川崎市立金程中学校／町田市立木曽中学校

連載

しごとインタビュー ビューティーアーティスト／ネイリスト 木下美穂里さん

わが社の人材開発 新協電子株式会社

企業研修の現場から 浅野衣子

職業能力開発の現場から 福井県立福井産業技術専門学院

キャリアセンター通信 中国学園大学・中国短期大学

キャリア指導の現場から 千葉吉裕

若者のこころ考現学 金屋光彦

キャリアカウンセリングの現場から 加藤 駿



特集 中学校における 職業レディネス・テスト活用の 実際

中学校のキャリア教育において、職場体験は重要な位置を占めています。その事前準備として「職業レディネス・テスト」(VRT)は、従来から広く活用されています。

多くの中学生は、自分の普段の生活に身近な職業しか知りませんし、職業への関心が高いとはいえないようです。そこで、VRTで自分自身の興味や自信などの特徴を知り、それらを生かせる職業を知ることにより、職業の世界への関心を喚起することにつながることができます。

コロナ禍において、中学校でのキャリア教育のプログラムが変更・見直しを余儀なくされることも多い中、VRTが実際にどのように活用されているのか、具体的な事例をご紹介します。



読者アンケート & 当会発行図書プレゼント!

編集部では、今後の誌面作りに役立てるため、読者の皆様の声をお待ちしております。WEB アンケートへご協力いただいた方に、ご希望の図書を差し上げます。詳しくはこちらにてご覧ください。

<http://www.koyoerc.or.jp>

QR コードからもアクセスできます。
(一部の携帯電話は対応しておりません。ご了承ください。)



特集

巻頭言

中学校における職業レディネス・テストの効果的な活用
早稲田大学大学院教育学研究科 教授 三村隆男 ————— 3

活用事例

事前にVRTを実施し、仕事体験を充実させる
一連の流れを継続的キャリア教育につなげることが課題
川崎市立麻生中学校 ————— 4

職場体験に向け、VRTを使って様々な職業があることを知る
東村山市立東村山第四中学校 ————— 6

将来への展望を持つことにつながる「職業への気づき」を
町田市立南大谷中学校 ————— 8

VRTからスタートする中高一貫校でのキャリア教育
立教池袋中学校・高等学校 ————— 10

キャリア教育プログラムと連動させた活用
川崎市立金程中学校／町田市立木曽中学校 ————— 11

中学の先生にVRTを受けていただきました ————— 12

連載

●しごとインタビュー
プロだからこそ、日々の努力を欠かさずお客様の信頼を得る
木下美穂里さん ビューティーアーティスト／ネイリスト ————— 14

●わが社の人材開発
様々な人材開発制度を創設・整備し、「逸材」を育成
新協電子株式会社 ————— 16

●企業研修の現場から 11-4
社会構成主義時代の企業研修について
浅野衣子 株式会社キャリア開発サポーターズ 代表取締役 ————— 17

●職業能力開発の現場から
情報発信を強化し
人と企業が求める職業訓練に取り組む
福井県立福井産業技術専門学院 ————— 18

●キャリアセンター通信
学生一人ひとりにきめ細かい支援を実施し、
高い内定率を維持する取り組み
中国学園大学・中国短期大学 ————— 19

●キャリア指導の現場から④
「労働観」ではなく、「勤労観」を
千葉吉裕
東洋大学経営学部 非常勤講師／玉川大学 教師教育リサーチセンター 非常勤講師 ———— 20

●若者のこころ考現学 第3回
寄る辺なき世代を憂う
～アイデンティティ拡散に追い込まれた末の暴発事件～
金屋光彦 臨床心理士／公認心理師 ————— 21

●キャリアカウンセリングの現場から 26-4
「やりたいことができない」から「納得のいく進路」へ
加藤 駿 駒澤大学 キャリアセンター ————— 22



早稲田大学大学院
教育学研究科 教授

三村隆男

中学校における 職業レディネス・テストの 効果的な活用

職業レディネス・テスト（以下V R T）の活用が増えつつあるとのことを伺い嬉しく思う。高校教員時代にV R T新版を利用していただき30年以上になる。現場での実践を通し、V R Tの有用性を常々認識しており、幸運にも、2003年にアイオワ大学の指導教授のジェプセン（D.A. Jepsen）博士とAmerican College Testing（A C T）を訪問する機会を得た。R I A S E C理論の研究はもちろん、World-of-Work Mapの開発担当のスワニー（K. Swaney）博士から話が聞けたことでV R Tへの理解も大変深まった。V R TのB検査の背景にはWork Task Dimensionsがあることもその時知った。

その後、V R Tに「結果の見方・生かし方」が付き、飛躍的に教育現場での活用度が高まったと言える。職業レディネスという概念を、社会的・職業的自立にむかう過程で育まれる「役割興味」とすることで、V R Tの中学校における活用度も高まると考える。

現行の学習指導要領では小中高12年間を通して「一人一人のキャリア形成と自己実現」が求められた。さらに、小中高の学習指導要領解説特別活動編では、キャリア形成を「社会の中で自分の役割を果たしながら、自分らしい生き方を実現していくための働きかけ、その連なりや積み重ねを意味する」（傍線筆者）としている。キャリア形成上

「役割興味」を知ることとは自分らしい生き方を実現していく上では不可欠なのである。「役割興味」を職業レディネスにつながる文脈も重要であるが、日常生活の中で自らの「役割興味」を醸成することも重要である。

こうした考え方を前提に中学校におけるV R Tの活用について考えてみたい。

中学校では職業理解の重要な機会である職場体験がコロナ禍で大きく縮小された。従来から体験活動充実のためV R Tを導入している学校もあったが、職場体験の日数減を補うために活用する学校も出てきている。

V R Tには、検査結果を基に関心のある職業を選ぶ作業W O R K 3がある。ここでは多くの職業から関心のある職業をさがすが、その際未知の職業の多さに生徒は気づく。こうした気づきは、職場理解の脆弱さへの自己理解につながり、職業学習への動機づけとなり、職場体験等の取り組みの効果を高めるのである。

一方、留意しておく点もある。スーパリーの職業適合性では、興味はパーソナリティに類型化され、能力に類型化される適性とは厳密に区別している。これは、V R Tが適性検査と誤解されることによっておこる弊害を予見している。W O R K 3の各タイプに示された職業は、示されたタイプの人たちが

事前にVRTを実施し、仕事体験を充実させる

一連の流れを継続的キャリア教育につなげることが課題

川崎市立麻生中学校では、コロナ禍により2021年度は2年生での職場体験の代わりにキッザニア東京での仕事体験を行うことになりました。定年退職後に非常勤講師として勤務されていた齋藤茂先生は、その体験学習に臨む前に職業レディネス・テスト（VRT）の実施を提案しました。

川崎市立
麻生中学校

●川崎市立麻生中学校

所在地：神奈川県川崎市麻生区上麻生 4-39-1

創立：平成3（1991）年

生徒数：437名（2022年4月現在）



齋藤 茂 先生

元川崎市立福田中学校教諭

キャリアコンサルタント

定年後に非常勤講師として麻生中学校に勤務。中学校の現場でのVRT活用経験は10年以上に及ぶ。

●VRTの導入

VRTは以前勤務していた中学校で数年にわたり活用し、テストへの信頼を持っていたので、キャリア担当の先生に紹介しました。2021年度は中学2年生で職場体験の代わりにキッザニア東京での体験を行うことになり、せっかく行くのなら、事前にVRTを実施することで生徒に仕事について何かしらの知識と心構えを持つてほしい、そしてキッザニアでの体験学習を充実させてほしいと思いました。

●VRT実施まで

VRTを実施する前に2回ほど講演し、中学校での校内学習が社会生活とどのように結びついているかや、世の中は様々な仕事があって成り立っていることを伝え、VRTを実施することで何がわかるのかを説明します。いずれも話の後に20分ほど、4人グループでの振り返りの時間を設けています。各自振り返りシートに記入し、発表し、また自分で考えます。それによって、「自分の考えを明確にし、友達に伝える、友達の考えを聴く」というコミュニケーション能力を身に付けることが目的です。こういったことは練習しないとなかなかできるようにならないので、練習を兼ねて行っています。この振り返りの時間は講演の話と同じくらいとても大切です。

そして、VRTを実施します。実施1コマ、集計と「結果の見方・生かし方」の作成・説明1コマ、VRTを受けて

●振り返りシート「VRTを受けて」（齋藤先生作成）

グループの話し合いルール

（読んで共有する）

- 一人ひとりの話を尊重し、注意を払ってきちんと聴く。
- 友達の意見を一方的に判断したり、決め付けたりしない。
- また、自分自身のことも決め付けない。
- 素直に意見を言い合う。
- 積極的にグループに参加する。
- グループの時間を独占しない。

「職業レディネステスト（VRT）」を受けて

2 年 組 番 氏 名

私の標準得点

	現実的	研究的	芸術的	社会的	企業的	慣習的
A 検査						
C 検査						

情報

人

物

日 検査

1. 気になった職業・仕事、印象に残った言葉や内容。（3分）

職業・仕事、言葉や内容（1分）

その理由（2分）人にも説明できるように書く

2. 自分の発表（1分） 質問・答え（2分）

友達の発表を聴いて思ったことメモ（1分）

3. 話し合いで感じたこと、考えたこと（3分）

の振り返り1コマの計3コマの時間をスケジュールに組み込むことが、なかなか難しい課題でした。

ただ、生徒からは「人の話を聞けて良かった」「こういう場所だから話が聴けた、話せた」「友達がこんなことを考えているなんてびっくりした」などの感想があったので、振り返りの時間はぜひ取ったほうがよいですね。

●キッザニアの体験学習へ

キッザニア東京での仕事体験では、一人ひとりがテーマを持って行くことになっていました。各自が設定したテーマに沿って体験したいアクティビティ（仕事）を4、5種類選びました。選ぶ際は、VRTの結果もヒントになっていますが、それが直接適職を示しているわけではないので、結果だけにとらわれることなく選びます。VRT

Tの興味と同じ方向のアクティビティを選んだ場合は、実際に体験することなどで「自分が考えていたのとは違うな」など見えることが多いので、やはりやってみることは大切ですね。

コロナの感染拡大の影響で、キッザニア行きが1カ月半ほど延長になったので、調べたことを発表するなど、準備にはかなり時間をかけました。終了後は、振り返りを行いました。時間の関係でグループでの話し合いは実施できず、ワークシートを記入して体験をまとめました。キッザニア東京はとも楽しい体験だったようで、生徒も先生も生き活きしていましたよ。

●VRTの良い点、留意点

良い点は、客観的なテストであり、「興味のあること」「自信のあること」がわかりやすく、多くの生徒が結果に

●生徒の感想（VRT実施後の振り返りシートより）

- 友達のいろいろな考え（正反対の意見、個性）を聞くことができて良かった。
- 知らなかった職業が気になった。職業の幅が広がった。いろいろな感情が出てきた。
- 友達は決まっていて、自分はまだまだと自覚した。自分も将来を真剣に考えたい。
- 身近なものに楽しさを感じ、好きなものがなりたいた職業につながっていた。
- 自分のしたいこと、好きなことをもとに考えてよいと思った。
- 自分の特徴や持ち味を知ることができて良かった。もっといろいろな職業を知りたい。

また、教員からは「VRTは面白い。一人ひとりの個性はそれぞれだというのはいつもわれわれが言っていることだけれど、それを可視化して結果が出るものとしてまとめたところが良い」という声が上がっています。

留意点は、このテストにより、適職が診断されると思われるしまう可能性があることです。VRTの結果により「この職業はあなたに向いていないのでは」などと先生が指導してしまうことも避けなければなりません。

VRTの結果は、将来の職業を考える上での入り口、きっかけであって、成長過程にいる中学生は、VRTの結果

納得するテストであるということです。ほぼ全員が「自分の将来の職業（仕事）が、好きなこと・興味あることとつながればよい」と思っているということが、生徒の感想・反応から感じ取れました。

●麻生中学校 キzzaニア東京での仕事体験前後の流れ（2021年度）

事前講演

講演①

テーマ「なぜ勉強するの？」

- 中学校で学習する各教科・特別活動の役割、目的、ねらいを明確にし、理解・意識して活動することを促す。
- 9教科、総合的な学習の時間●世の中のいろいろな情報を正確に理解し、適切に取捨選択するために必要なことを学ぶ。
- 特別活動●行事、生徒会活動、部活動、学級活動は、学び、考え、計画したことを疑似社会で実践する場であり、それを磨く場でもある。一般的な社会活動における初心者、中堅、リーダーなどにも似て1、2、3年生それぞれの役割があることなどを知る。

振り返り

- 4人でのグループ討議による振り返り。

講演②

テーマ「仕事」

- 社会の変化や仕事の流れを説明し、自分のやってみたい職業への関心を高める。

VRTを実施する意味

- なぜVRTを実施するのか、実施することで何がわかるのかを説明。自分は何に興味があるか、どんなことができるか、といったことを自分でわかっておくこと、そして今後それらをますます磨いていくことが大切だと伝え、VRTの実施につなげていく。

振り返り

- 4人でのグループ討議による振り返り。

VRTの実施

採点、結果の整理、「結果の見方・生かし方」によるワーク

振り返り

- 4人でのグループ討議による振り返り。
- 気になったこと、印象に残ったことを各自振り返りシートに記入し、人に説明できるように理由も書く。
- 書いた内容を基に、「グループの話し合いのルール」を守りながら発表し、質問に答える。
- ほかの人の発表を聴いて思ったことをメモし、聞きたいことがあれば質問する。

事前準備

- 一人ひとりが自分のテーマを設定し、アクティビティを選ぶ。
- 「みんなの役に立つ」「SDGsの中のこれ」など、キzzaニア東京での仕事体験のテーマを決める。
- テーマに沿って、体験したいアクティビティ（仕事）を4、5種類選ぶ。
- 参加企業について調べる。

キzzaニア東京での仕事体験

- 同じアクティビティを選んだ人同士でグループを作り、実際に仕事を体験。

振り返り

- ワークシートを記入して体験をまとめる（時間の関係でグループでの話し合いは実施できず）。

職業レディネス・テスト

キzzaニア東京体験

●課題と期待

教員を定年退職し、少し離れた位置

果を自分自身に落とし込むのに時間がかかると考えています。なぜなら、VRTの興味・自信・基礎的志向性を参考にしながら、教科・特別活動を通して価値観・アイデンティティを獲得していくと思われるからです。

から教員の仕事を見ているですが、先生は中間テスト、三者面談、夏休み、川崎市中学校総合体育大会、期末テスト、前期終業式、文化祭や合唱祭の準備等々、多くの行事が重なっている、負担の大きさを感じます。そのような中でもVRTやキzzaニアの体験を一つのイベントとして終わらせてしまうのではなく、いかにキャリア教育への関

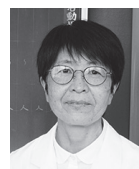
心を持ち続け、継続してVRTを実施することができかが課題ですね。

VRTの実施やキzzaニアでの体験学習の一つの柱に、生徒みんなが興味・能力・自信・価値観を毎日の生活の中で磨いていて、将来に向けて生き生きとした人生を送れるようになることを願っています。

職場体験に向け、VRTを使って 様々な職業があることを知る

東村山市立
東村山第四
中学校

東村山市立東村山第四中学校では、2018年から職業レディネス・テスト（VRT）を毎年利用しています。職場体験の前に、世の中にはいろいろな職業があることを生徒に知ってもらうために役立てています。第2学年の担当者である比嘉利奈先生にお話を伺いました。



比嘉 利奈 先生

東村山市立東村山第四中学校
教諭（第2学年）

●生徒が自分の職業興味を知り、 職場体験の職業選びに生かす

VRTを受けるのは2年生です。学年の担当者は毎年変わり、私は今年度から担当になりました。2学年の担当の中から担当者が選ばれ、その担当者が毎年検査の実施を検討しますが、VRTは近年継続して行っています。

1年生では身近な人に職業についてインタビューをします。2年生では職場体験を行い、その職業選びに向けてVRTを行っています。生徒たちも心理検査には興味があるようです。

自治体ごとに職場体験を行う時期は決まっていますが、東村山市は9月の終わりに行います。体験できる職業は限られた職種（保育園の保育士、高齢者施設、工場、営業職など）ではありますが、その中から生徒の希望を取ります。少しでも生徒が興味を持てる職業のほうがいいので、生徒の希望を取る前にVRTを行います。そのため判定結果が7月中に出るように6月にVRTを実施しています。

しかし残念ながら、ここ3年間は新型コロナウイルス流行のため職場体験は実施できていません。そこで今年は、職業に就いている方を講師として学校に招いて「職場体験もどき」を行う予定です。

●職場体験に向けた職業調べには ウェブサイトも活用

キャリア教育の流れとしては、1年生は身近な人の職業調べ、2年生は職

場体験、3年生は将来の職業につなげていくための進路決定となります。多くは大学進学に向けて高校は普通科を選びます。

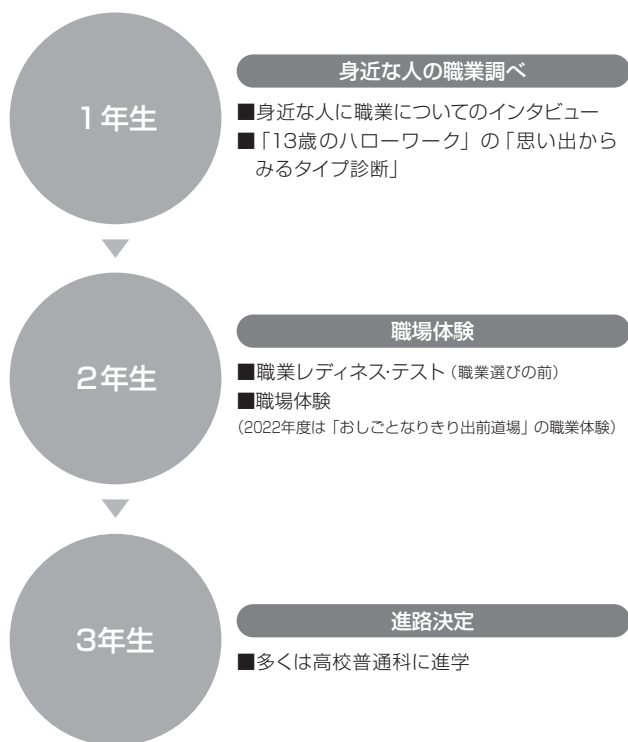
1年時の身近な人の職業調べの後、ウェブサイト「13歳のハローワーク」の「思い出からみるタイプ診断」を行っています。中学生は心理テストが好きで、去年から一人1台タブレットが配布されたのでウェブサイトも利用しています。小学生の頃を思い出して質問に回答することで、その人のタイプに合った職業分野を見ることが出来ます。小学生の頃の思い出があるので、本人が思っていたとおりの結果が出ることも多いですし、例えばスポーツ分野の職業を調べると、スポーツ選手のほかにトレーナーなど様々な

職業があることがわかり、さらにインタビューが載っているの、いろいろな職業があることを知る入り口として使っています。2年生で行うVRTも同様に、これまで聞いたことがないような様々な職業があることを知る入り口として使おうと思っています。

●様々な職業を知る機会として VRTを利用

VRTの実施にあたっては、去年まではハローワークの職員の方が学校に来て、体育館に生徒を集めてワークシート「結果の見方・生かし方」の使い方を説明していました。今年からは各クラスで担任が指導しながら生徒が内容を作成する予定です。WORK3をメインに行い、時間があればWORK

●東村山第四中学校 キャリア教育の流れ





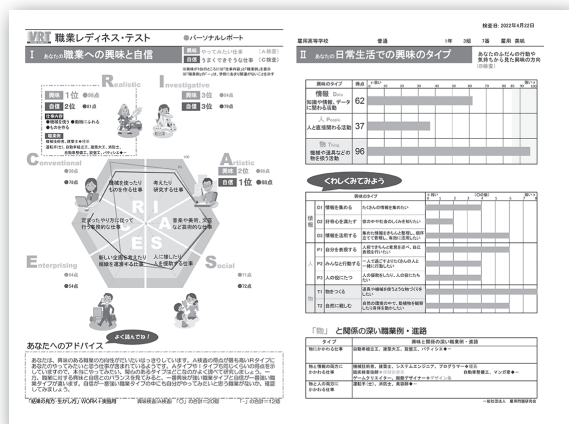
●東村山市立東村山第四中学校

所在地：東京都東村山市野口町3-24-1

創立：昭和38（1963）年

生徒数：505名（2022年4月現在）

●職業レディネス・テスト パーソナルレポート



2も行おうと思います。

今年はいくつかから行うので生徒の反応はわかりませんが、以前体育館で行った時の生徒の様子を観察していたところ、自分が希望していた職業とは違う興味領域の得点が高く出ていたりすると、周りの生徒とお互いの情報を共有したり、その後1〜2週間は自分に向いているかもしれない職業について話し合ったりしていました。自分がやりたいと思っていた職業と同じ結果が出たので安心したという生徒もいましたね。中学生なので、あくまでも「こんな職業もあるよ」という紹介という感じで利用しています。

VR Tのコンピュータ判定は、「結果の見方・生かし方」のWORK1がそのままパーソナルレポートになって

います。結果がグラフで表示され、興味の高い領域の1位から3位も示されて、カラーでわかりやすいので、パーソナルレポートを渡すだけでも生徒は結果を理解できると思います。

●職場体験

職場体験で生徒が希望するのは、自分の親の職業やテレビで見たことのある職業が多いですね。実際には学校が用意している事業所から選ぶので、例えば「人に優しく接する職業を希望するのであれば介護職か保育園」「人と接するのが苦手であれば営業職などの商業関係の職業は選ばない」というように決まっています。具体的な職業名というのは生徒からはあまり上がりません。

職場体験を行っていた4年前で一番多かったのは商業関係で、半分強くらいです。商店街や市内の個人店にお願いして、美容室、タクシー会社、コンビニ店に協力していただきました。市役所には、保育園、高齢者施設、児童館などの地方公務員の仕事をあつ旋していただきました。

今年はいくつかとなりきり出前道場（一般社団法人夢らくぎプロジェクト）を利用して、10種類の職業について、その職業に就いている人を講師に招いて校内で職場体験を行います。各教室でそれぞれの職業を体験できます。26種類の職業から、生徒の希望を聞いて10種類程度を選んでいるところです。イラストレーターと建築家が最も人気

が高く、次いでマジシャン、ファッションデザイナーの希望も多いです。ほかにはネイリスト、メイクアップ・アーティスト、システムエンジニア、シンガーソングライターなどです。

職業を調べるために、以前は「13歳のハローワーク」の書籍を使っていたのですが、ウェブサイトがあることを知って使い始めました。また、100職種くらいの「なるにはブックス」が学校の図書館にあり利用していましたが、時が経つにつれて職業の内容が変化していったため、本の内容が現状と合わなくなってくることもあり、頻繁に買い替えるわけにもいかなかった。現在はウェブサイトを参照して職業調べを行う方向に移行してきました。

今年各クラスに置こうと思っているのは「おしごと年鑑」（朝日新聞社）という書籍です。教室に置いてあれば生徒は手に取って見やすいのではないのでしょうか。

この3年間は職場体験が実施できていませんが、今後職場体験が実施できない場合でもVR Tは使うと思います。生徒は、なりたい職業といっても種類が限られているので、いろいろな職業があることを紹介するにはVR Tは適していますし、いろいろな職業をただ知るだけでなく、自分の興味に合う職業や潜在的に可能性のある職業を知る機会にもなると思うので、職場体験が実施できない場合でも、VR Tは利用価値があると思いますね。

町田市立
南大谷中学校



勝峰 夏 先生
町田市立南大谷中学校
教諭(第1学年)

●「身の回りにある職業を考えてみよう」

1年生では、まず「身の回りにある職業を考えてみよう」という課題があります。自分の身の回りにどういう職業があるのかについて書き出し、気づいたことをプリントにまとめます。朝起きてから夜寝るまでの1日を通して、自分の身の回りを見渡してもらい、働いている人を見て、その人がいつ、どこで、何をしていたか、それが自分の目にどのように映ったかを書きます。楽しそうだったり、つらそうだったりいろいろあると思います。保護者でも近所の方でも、学校内の人でも構

いません。

職業というものに気づき、どのようなものがあるかを知ってもらうのが狙いです。普段の日常では意識しないことを考えることで、職業への理解につながる第一歩になると思います。生徒は真剣に取り組んでいますね。

●職業レディネステスト

そして「職業レディネス・テスト」を実施します。生徒はさらに今まで知らなかった職業を知ることになり、「職業への気づき」が生まれます。

V R T のコンピュータ判定結果が返却されてくると、生徒が今まで頭の中でぼんやりと描いていたものがデータとして視覚化されて、自分を客観視する一つの指標となります。ビジュアル

そして「職業レディネス・テスト」を実施します。生徒はさらに今まで知らなかった職業を知ることになり、「職業への気づき」が生まれます。

VRTのコンピュータ判定結果が返却されてくると、生徒が今まで頭の中ではんやりと描いていたものがデータとして視覚化されて、自分を客観視する一つの指標となります。ビジュアル

がります。

このテストの自分の結果にあまりと
らわれないで、「我が道を行く」とい
う生徒もいて、様々なリアクションが
生まれるのが興味深いですね。「この
仕事が気になるから調べてみよう」と
いう生徒の思いを汲み取って指導して
いくことが大切だと思います。将
来のこと、仕事のこと、進路のことを
考えてもらうきっかけとなってくれ
ば嬉しいのです。

テストを受けて生まれた気づきをどのように形にするかがポイントです。VRTを通じてインプットしたことをアウトプットするということです。選んだ職業について誰かに聞いたり、メディアを活用したりして情報を収集

的に見やすく表示されますので、とてもわかりやすいと思いますね。

また、「結果の見方・生かし方」のワークシートに各自で結果を記入します。WORK3の「仕事と職業の六角形」には多くの職業が記載されていて、生徒が初めて知る職業もあります。そこで「こんな仕事初めて知った」とか「3



●町田市立南大谷中学校

所在地：東京都町田市南大谷985-1

創立：昭和50（1975）年

生徒数：506名（2022年4月現在）

●職業新聞 作成要領・準備等

2022.07.12

職業新聞を作成しよう

1年 組 番号 名前

- 目的
 - ・進路学習の一貫として、自分の興味のある職業について深く知る。
 - ・職業について調べることにより、将来への展望をもつ。
 - ・情報の整理、活用能力や表現、発表の能力を高める。
- 今後の予定
 - ・作成した新聞を廊下に掲示し、各クラスの最優秀作品と優秀作品を選出する。
 - ・各クラスで新聞の内容を基にした職業紹介を行い、その後学年での発表を行う。
- 提出日 夏休み中に作成し、始業式の日(8/29(月))に提出
- 作成の手順
 - ①職業の選び方
自分の興味のある職業や職業レディネステストで見つけた職業などから1つを選ぶ。
 - ②情報の集め方
I.身近な人にインタビューする（家族や親戚、近所のお店や知り合いなど）。
II.インターネットや本を利用して調べる。
(インターネットを利用する際には、信頼できるサイトを利用すること)
III.テレビのドキュメンタリーなどを視聴する。
これらを参考にし、信頼できる情報に基づいた新聞を作成しよう。
 - ③レイアウトを考える
表紙を利用して、レイアウトを考える。
その際、タイトルの位置、写真やイラストの配置など見やすくなる工夫をする。
 - ④記事を書く
記事の下書きをしてから、ペンで書き写す。
(効果的な色を使い、目を引く作品を作りましょう。)
- 注意事項
 - ①画用紙を縦長に使い、縦書きで記入する。1cmの線取りをする。
 - ②新聞名、学年、組、番号、氏名を見出しとして入れること。
 - ③職業新聞を作成後、自分の感想や考えを編集後記として入れること。
 - ④人を傷つけるような内容は書かないこと。
 - ⑤クロムブックを利用する際は、利用上の注意を守り、長時間利用しないこと。
 - ⑥イラストや写真が全体の1/3以上を占めないこと。

6. 下調べをしよう。

私が選んだ職業→

仕事内容	
必要な資格や試験 (ある場合は)	
↓ここから先は自分で気になることを調べよう (やりがいや将来のキャリア、私たちの生活とのつながりなど)	

(例)

見出し1 ○○○にならなは？	新聞
発行日 年・月・日 学年・クラス 番号 氏名	
見出し2	
見出し3	
編集後記・感想(コメント)	写真



●廊下に掲示された職業新聞

し記事にして、新聞としてレイアウトします。作成した「職業新聞」を2学期の始まりに提出してもらい、クラス全員でその新聞の内容を発表します。廊下の壁にも貼り出します。

保護者が就いている職業を選ぶ生徒が比較的多いようです。やはり身近だからでしょうね。CAや漫画家など、憧れの職業を選ぶ生徒もいます。

最後に「編集後記・コメント・感想」として、本人なりのまとめを記述させています。中には、「人の役に立って

いる仕事だから自分も人の役に立ちたいと思った」とか「働いている人とコミュニケーションを取りたい」という感想もありました。黙って働きぶりを見ているだけでなく、声をかけて実際の苦労や楽しさを聞いてみたくなったのだと思います。

クラス発表の後、各クラスから数人ずつ選び、学年全体で発表する場も設けています。情報を整理して紙面に効果的に表現し、人前で発表するといった能力を高めるための学習の一環にも

なっています。

本来でしたら2年時に職場体験があるのですが、残念ながらコロナ禍で実施できておらず、今年は様々な職業に就かれている方々を講師としてお迎えして、職業人インタビューを行いました。こうした一連の進路学習によって、生徒たちが仕事、職業について何らかの気づきを得て、自分自身で主体的に将来への展望を持てるようになってくれればよいと思っています。

VRTからスタートする 中高一貫校でのキャリア教育

立教池袋
中学校・
高等学校

立教池袋中学校では、VRTを20年以上活用しています。幅広く職業について知り、将来を考えるきっかけとするために、VRTをキャリア教育のスタートに位置づけています。昨年3年生の担任をされていた重原康秀先生にお話を伺いました。

●立教池袋中学校・高等学校

所在地：東京都豊島区西池袋5-16-5

設立：明治29(1896)年／平成12(2000)年に立教中学校を再編、中高一貫校として開校
生徒数：中学校453名（2022年4月現在）



重原 康秀 先生

立教池袋中学校・高等学校
教諭

●中3～高1のキャリア教育（2021-2022年度）

中
3

- 10月 職業レディネス・テスト
- 12月 自分史レポート
- 1月 面談指導
- 2月 高校推薦入試（面接試験）

高
1

- 5月 キャリア学習プログラム（5日間）
 - ①キャリアデザインに関する基調講演、インタビュー手法について
 - ②グループごとのインタビュー準備
 - ③企業訪問、インタビュー実施
 - ④グループごとのインタビューまとめと発表準備
 - ⑤プレゼンテーション
- この5日間は通常の授業を行わず、特別プログラムと称して「キャリア学習」を実施している。

●職業について、自分について 知るきっかけに

進路や将来を考えるきっかけ作りとして、中学3年生でVRTを実施しています。生徒は、職業という消極的な教員など数少ない身近な職業しか知りません。しかし、VRTを実施することで、今まで知らなかった職業について幅広く知ることができるので、それだけでも実施する意義があります。2コマ使って、実施、採点、「結果の見方・生かし方」を使用した分析・ワークを行っています。

生徒は楽しそうに実施し、結果を見えています。自分についての関心も高まる時期なので、基礎的な志向性など、自分のことを客観的に知る良い機会でもあります。また、主観的に見た自分と同じか、違う部分があるかなど、興味を持って結果を見えています。

中学生のこの段階では、職業的発達には個人差も大きく、分化していない生

徒も多いですが、結果を見てがっかりしているような場面は特に見受けられないので、ツールとして使いやすいいと思いますね。

「結果の見方・生かし方」は、保護者会で配って見ってもらっています。何もないところで、親子で将来のこと、職業のことを話すのはなかなか難しいです。ですから、これをきっかけに話し合う機会にしてほしいと思っています。

●体系的なキャリア教育を VRTから始める

本校は中高一貫校なので、中学3年生・高校1年生まで体系的にキャリア教育を行っています。中3の10月にVRTを実施して将来のことを考え、11月には「自分史レポート」を作成し、中学生生活を振り返ります。

高校へは推薦制度が設けられていて、学科試験は行いませんが、2月に面接試験を行い、高校入学への意識づけをします。その面接試験に向けて1月に面談指導を行います。面接では、具体的なエピソードを踏まえて答えるように指導していますが、VRTの結果や自分史レポートが、その資料として参考になります。

高校1年では、5月に連続5日間、「キャリア学習プログラム」が展開されます。興味のある職業の近い人同士8人で1グループとなり、実際に企業を訪問し、一人の社会人にインタビューを行います。社会人の方に来校いただくという方法もありますが、教室のなかで完結してしまうのではなく、なるべく実際の環境に触れること

により、インパクトを受けたり、感受性を豊かにするために、訪問という形をとっています。

インタビューの際は、職業について知るといよりは働くとはどういうことなのかという仕事観（例えば、自己実現、社会貢献など）に焦点を当てるように指導しています。

●将来を考え、これからの社会 で身に付けるべき本質的な力を

本校はいわゆる「中高一貫教育」を超えて、大学までを視野に入れた「立教学院一貫連携教育」を目指しているため、時間的にゆとりがあるので、このようなプログラムを展開できるのだと思います。大学受験があれば、それが将来について考える機会になります。が、本校では受験を経ることなく日常生活を送っていても大学まで行くことができてしまいます。そのため、より一層将来を考える機会を作りたいという強い思いがあります。

今は職業選択の難しい時代になってきています。生徒は以前よりも安定志向になって、将来役に立ちそうなことはきちんと勉強するけれど、あまりそうとは思えないことには力を入れないという傾向が感じられます。しかし、今ある職業が数年後にはなくなってしまうこともある。だからこそ幅広い教養に基づいた本質的な力、例えば様々な課題に向き合い解決していける思考力や変革力、異なる価値観を持つ人々と共に生きる力などを身に付けることがより重要になっている、と生徒には伝えています。

キャリア教育プログラムと連動させた活用

職場体験や職業インタビュー等のキャリア教育のプログラムと連動させてVRTをセットで行うことにより、活動の取り組みがより充実し効果を高めることが期待できます。

職場体験学習

町田市立
木曽中学校

細井 千恵 先生

町田市立木曽中学校 教諭
(第2学年)

2年生のキャリア教育で職場体験学習がありますが、VRTはその事前学習として総合学習の時間に実施します。

職場体験先を選ぶにあたって、まずVRTを受け、そしてどういう職業に興味があるかアンケートを取った結果

これですべてが確定するわけでもないし、あくまでも現時点で自分が興味のあること、自信があることをまず自己確認できればいいというもので、点数が高ければいいようなものではない、という話はしています。

生徒にはVRTの目的を話している

今回の結果は保護者とも共有しています。授業で記載したワークシート「結果の見方・生かし方」をいったん生徒から集めて、学期末の三者面談の際に返します。保護者も結果に関心をお持ちでしたね。

職業インタビューは、コロナ禍で中止となってしまいましたが、生徒自身が自分の興味のあること・ないことについて理解する手がかりになったと思うので、VRTを実施して良かったと感じています。

職業インタビュー

川崎市立
金程中学校

尾形 裕子 先生

川崎市立金程中学校 教諭
(第3学年(昨年度第2学年))

2年生のキャリア教育プログラムの中で、1月に「職業インタビュー」を計画していました。インタビューを行う前に自分の特性や向いている仕事への理解を深めてもらいたいと思い、10月にVRTを実施しました。総合的な学習の時間を3コマ使い、1時間目は「職業観」についての話を、2時間目

はVRTの実施を、そして3時間目は採点と「結果の見方・生かし方」を使用したワークを行いました。

生徒たちは結果を楽しそうに見せ合っていました。自発的にそうだったのですが、中には興味が多岐にわたる結果となったり、WORK3で自分が興味を持てる職業が見つからないなど、少し残念に感じているような生徒もいたので、「点数が高ければいいわけではない」「これから職業を知っていくためのきっかけにしよう」などの助言をしたほうがよかったのかもしれないという気がします。

今回の結果は今の段階での結果であり、今後変わっていく可能性があること

とはしっかり伝えていきます。また中学生の段階なので、具体的な職業に落とし込んで考えるというよりは自身の特性を知ること、重きを置くようにしています。

VRTの結果は保護者とも共有しています。授業で記載したワークシート「結果の見方・生かし方」をいったん生徒から集めて、学期末の三者面談の際に返します。保護者も結果に関心をお持ちでしたね。

職業インタビューは、コロナ禍で中止となってしまいましたが、生徒自身が自分の興味のあること・ないことについて理解する手がかりになったと思うので、VRTを実施して良かったと感じています。

中学の先生にVRTを受けていただきました

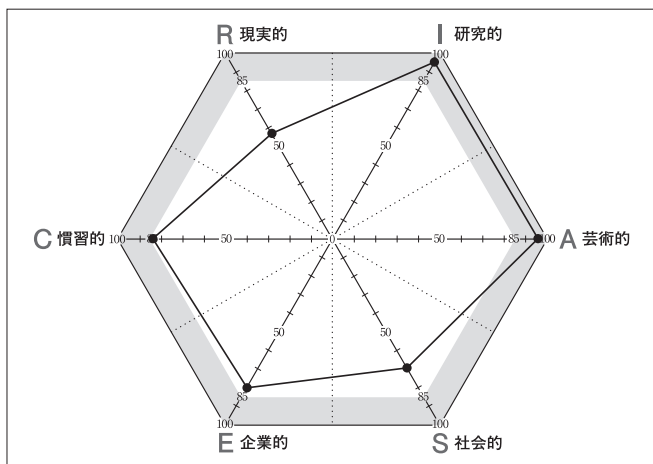
お二人の先生の職業レディネス・テストのA検査（興味）の結果プロフィールをご紹介します。

職業は1つの仕事だけをやるというものではありません。例えば「教師」という1つの職業も、実際には様々な仕事を含んでいます。一定の目的を持った仕事のまとまりが課業（task）であり、複数の課業が1つの職務（job）を構成します。職業は、職場の枠を越えて一定の類似性からまとめた一群の職務のことです。1つの職業に就いたとしてもその中で複数の仕事をしていくのが普通であり、職業名にとらわれすぎないことが大切です。VRTの6つの職業興味領域は、特徴的な傾向に基づき大きく類型化されたものであり、職業例もその領域的な仕事だけで成り立っているわけではありません。

教科の研究会での発表、イラストのキャッチコピーを考える…

●細井千恵先生

町田市立木曽中学校 教諭（国語科）



●細井先生の興味強い職業領域

- 1位：I 研究的職業領域
- 1位：A 芸術的職業領域
- 3位：C 慣習的職業領域

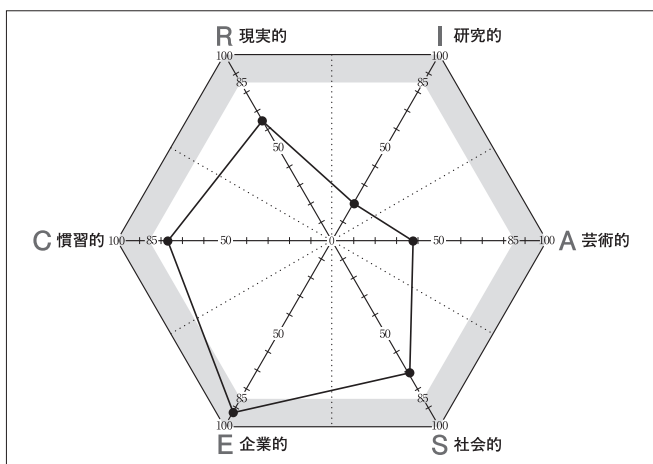
細井先生は大学で国文学を専攻し、「日本書紀」や「古事記」に惹かれ、主に神話について学びました。国文学の持つ面白さや奥行きを深さを仕事に生かせる道と考えて教員を目指しましたが、Iの研究領域への興味の高さにもそうした面が表れているようです。自分の教科を深めるために研究会等に参加し、ときに発表者になることもあり、また総合学習の授業等での調べ学習の内容を考えたりする場

面でも、そうした興味が生かされているように思えるといえます。Aの芸術的領域についても、「イラストに付けるキャッチコピーを考えたり、詩を読んでその場面をイラストにする授業をしたりする時に、クリエイティブな感性が必要だろうと思います」と話します。細井先生の「中学の時には料理人になりたいと思っていました」という言葉からも、探求的なものへの志向がうかがえそうです。

自分のアイディア、イメージを、協力しながらより良い形にしていく

●勝峰 夏先生

町田市立南大谷中学校 教諭（英語科）



●勝峰先生の興味強い職業領域

- 1位：E 企業的職業領域
- 2位：C 慣習的職業領域
- 3位：S 社会的職業領域

中学校での教育実習を通じて「生徒を指導することによって、理解してくれたり、できなかったことができるようになったりする」のを目の当たりにし、達成感や充実感を得られたことで、教員になろうと決めたという勝峰先生。興味が強かったというEの企業的領域については、「型にハマらず新しいアイディアを入れながら授業を展開していったり、学年や学校の行事を自分のイメージからつくり

あげ、他の先生方と協力しながら、より良いものにブラッシュアップしていったりする際に発揮されているのでは」との感想でした。大学では異文化コミュニケーション学部で、「価値観や文化の違いを理解しながら、自分と異なる考えを持つ他者といかに向き合い、共に生きるかを考えていました」。Cの慣習的領域は、「出席簿や成績をまとめる作業などに必要とされる要素ですね」といいます。

VRT 職業レディネス・テスト

- 編著：独立行政法人 労働政策研究・研修機構
- 対象：中学・高校・高専・専門学校・短大・大学・職業訓練校・職業相談機関等
- 実施所要時間：40～45分
- 測定するもの：6つのタイプの職業分野への興味・関心、自信／3つの基礎的志向性

職業レディネス・テスト（VRT）では、職業・仕事の内容を表す54項目に対してA検査は「やりたい」「どちらともいえない」「やりたくない」、C検査は「自信がある」「どちらともいえない」「自信がない」の各3段階で答えます。

A検査では生徒の職業興味が、C検査では職務遂行の自信度が、ホルランドの職業選択理論に基づくR、I、A、S、E、Cの6つの職業領域について測定され、プロフィールで表示されます。

B検査は日常の生活行動について記述した64項目に対して「あてはまる」「あてはまらない」で答え、職業への興味・関心の基礎となる志向性を測定します。

結果はD、P、Tの3つの方向性によるプロフィールで示され、基礎的志向性が同じタイプでもサブタイプによりさらに細かく興味の特徴をみることができます。



D 対情報志向

- D1 情報を集める
- D2 好奇心を満たす
- D3 情報を活用する

P 対人志向

- P1 自分を表現する
- P2 みんなと行動する
- P3 人の役にたつ

T 対物志向

- T1 物をつくる
- T2 自然に親しむ



プロだからこそ、 日々の努力を欠かさず お客様の信頼を得る

木下さんは、日本でのネイル技術の普及に努め、高い評価を得てきました。そのお話からは、高いプロ意識を持って研鑽を重ね、お客様の信頼を得ることを大切する姿勢がうかがえます。

ビューティーアーティスト／ネイリスト 木下美穂里さん



きのした・みほり●東京都生まれ。母は映像メイクアップ&ネイルの創始者“木下ユミ”。大学卒業後、母の仕事を受け継ぎ美容の道へ進む。数多くのタレント・モデル・CM・映画のヘアメイクを担当。日本におけるネイリストの教育活動、ネイル技術の普及に尽力。美容に関する数々の賞を受賞。「令和3年度 東京都優秀技能者（東京マイスター）知事賞」「令和4年度 東京都産業功労者」表彰 受賞。現在、株式会社ユミ・クリエイション代表取締役社長のほか、木下ユミ・メイクアップ&ネイルアトリエ校長、「ラ・クロヌ ネイルサロン」代表、NPO法人日本ネイリスト協会理事を務める。

クリエイティブな関心から ネイリストの道へ

——お母様も美容の世界でご活躍された方で、日本のメイクアップの草分け的な存在でいらつしやいますね。

木下 私父と母は、日本で初めてヘアメイクの会社を設立し、テレビの放送開始期から各放送局に事務所を設けていました。父が会社の経営を担い、母はスタッフと共にドラマやコマーシャルに出演する方々のメイクアップを担当しました。そのほかにも演劇やファッションショーなどの出演者のメイクも行いました。「ヘアメイクアップアーティスト」という言葉を創ったのも母です。そんな父母のもとには、世界中から美容に関する最先端の情報が集まり、私もそれらに接していました。

母はヘアメイクのほかにネイルも行っていました。当時ネイリストは、世界では職業として確立されていたのですが、日本ではこれからという状態でした。そんな中で父と母が日本ネイリスト協会の設立メンバーとして役員となりました。

——そうした環境で過ごされたから、ご自身も美容の道に進もうと思われたのですか。

木下 実は、私はもともと絵を描いたり、写真を撮ったりするのが好きで、大学では写真とアートデザインを専攻していました。私の場合は、自分が美しくなりたいとか、誰かを美しくしてあげたいという美容そのものより、アートを表現する対象としてネイルの世界に進んだのです。つまり自分が好きなことの先にネイリストという仕事があったということかもしれません。私のように、クリエイティブな関心からネイリストという職業を選ぶ方は少なくありません。

高い技術に裏打ちされてこそ プロとしての仕事ができる

——一般的にサロンにおけるネイリストのお仕事はどのようなことから始まるのでしょうか。

木下 多くの場合、ご予約のお電話をいただき、施術の日時を決めることから始まります。初回の予約を承るといふことは、お客様との最初の出会いに

なるわけです。お客様にご迷惑をけないためにも、時間管理はしっかりとしなければなりません。

お客様にご来店いただいたら、カウンセリングを行います。お客様のご要望をお聞きすると同時に、年齢やキャリアを確認し、私たちからメニュー提案をさせていただくこともあります。また、化粧品に対するアレルギーや指にけがをしていらつしやらないかも確認します。加えてお困りになっていることも伺いたうえで、最終的にどんな施術をするか、そしてそれにかかる時間が決まります。時間が決まれば料金も決まりますので、ご承諾をいただいて施術に取りかかります。

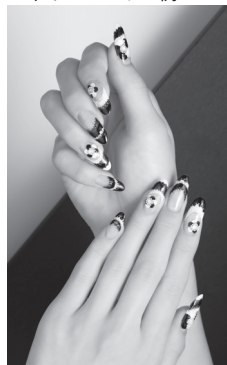
——お客様としっかりコミュニケーションを取ることも大切なんですね。

木下 ネイリストの仕事は爪や手足に施術をさせていただくことですが、お客様とコミュニケーションを取る「接客」という重要な要素があることを忘れてはいけません。現在ネイリストとして活躍していらつしやる方からは、もともと人と関わるのが苦手だったという声も聞かれます。でも、自分が必要とされていると感じることができれば、そうした苦手意識を克服することができるようになります。私自身がそうでしたから……。

器用な方なら、他者と関わらずに自分の爪にそれなりのネイルをすることができるといふでしょう。しかし、プロのネイリストは、お客様としっかりコミュニ

施術講習の様子。ネイリストは常に新しい技術を学ぶ努力が欠かせない。

▼ネイルアートの例



▼講演会の様子



ニケーションを取り、高い技術でより素敵なネイルをして差し上げることが出来る——そこにネイルがビジネスとして成り立つ理由があるのです。

常に自分を高める努力の中で得られる達成感

——どんなときにやりがいや喜びを感じるのでしょうか。

木下 何といっても施術が終わった後、そのお客様から次の予約をいただいたときですね。そんなときは「自分の施術にご満足いただけたかも!!」という思いが胸に広がります。それは安堵感に近いものかもしれません。それを何度も積み重ねていくと「お客様が自分を認めてくださったのだ」という達成感を覚えます。

また、より高い技術を身につけると自分の目標とし、それが達成できたときはうれしいですね。ネイリストの技能検定試験*があるのですが、それを受けると自分が持つ技術の客観的な評価を知ることができます。その技能試験でより上級を目指し、合格できたときは大きな達成感を得られます。そうした達成感がより高いポジションにチャレンジしようという意欲を生み、次の成長につながるのです。

——ネイリストの仕事はチームワークが大切だと聞きました。

木下 そのとおりです。もし自分がないときでも、きちんとお客様に対応

できるチームスタッフがいることはとても心強いです。それはスタッフの教育がしっかりできていて、スタッフ間のコミュニケーションも十分に取れていることの表れでもあります。

そうしたことがお客様からの信頼につながり、ひいては店の高評価にも結びつくのです。

——ネイリストのお仕事の厳しさはどのようなところにありますか。

木下 ネイリストは細心の注意を払って施術を行います。すべてのお客様にご満足いただけるとは限りません。時にはクレームをいただくこともあります。そのようなときにどう対応するかは難しい問題です。また、より高い技術を身につけようと努力しても、なかなか自分のものにならないこともあります。本人はその壁をどう乗り越えるかという課題に必死に向き合わなければなりません。

加えて、ネイリストは常に新しい技術を学ぶ必要があります。施術に使う様々な材料は日々進化し、それに伴って技術も進化します。ネイリストはこの2つの方向からの進化に対応するために、学びを欠かすことはできません。それが楽しみや喜びでもあります。

——これからネイリストを目指す若い人たちへのメッセージをお願いします。また、学校の進路指導の先生方に望むのはどのようなことでしょうか。

木下 私は、自分の将来像を描けなくなった若者が、ネイルと出会うことで

進むべき道を見つめる姿をたびたび見えました。

ネイリストの仕事に興味を持ったら、ネイルサロンで施術を受けてみてはどうでしょうか。そうすると自分の仕事上の先輩となるかもしれないネイリストがどんなふうに住事をしていのかが見えてきます。それはある種の職場体験で、ネイリストの仕事をもっと深く知るきっかけとなるはずです。そして「本当にこの仕事に興味があるのか」「本当にこの仕事が好きなのか」を自分で確認してください。

学校の先生方がネイリストの仕事やネイルの業界についてもっと知りたいときは、日本ネイリスト協会*などの団体の活動を見ていただければ、ネイリストに対する社会的な信頼をさらに高めるために、私たちが真摯に取り組んでいることがおわかりになると思います。また、ネイリストの待遇や雇用条件も、ほかの業界と比べて見劣りしないものだということをご理解いただけたら有難いですね。ネイリストになりたい生徒さんに関わり合うとき、ネイリストを選ぶということは、好きを仕事にできる「すばらしい道だと伝えていただければと思います。

*主催：公益財団法人日本ネイリスト検定試験センター・NPO法人日本ネイリスト協会他

**日本ネイリスト協会 Web サイト
<https://www.nail.or.jp/>

様々な人材開発制度を創設・整備し、 「逸材」を育成

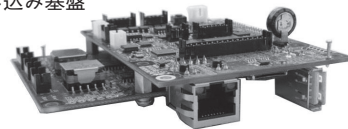


東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞
優秀賞受賞

教育訓練風景



組み込み基盤



入社後1年間、先輩社員が専属 トレーナーとして新人をサポート

新協電子株式会社は1966年に設立され、現在は電力設備や防災無線、鉄道や高速道路の交通監視システム、緊急車両や放送設備などの社会インフラに搭載される通信機器・部品の製造・販売を主な業務としています。生産工場を持たないファブレス経営を進め、設計を中心とした業務に力点を置いて、独自の強みを発揮しています。近隣の生産事業者約150社と提携しているため生産業務にも支障はありません。

同社は人材育成にも力を入れ、「令和3年度東京都中小企業技能人材育成大賞知事賞」において「優秀賞」を受賞しています。

新協電子は、長らく新卒採用を行っていませんでしたが、中西英樹さんが代表取締役社長に就任すると、新規顧客の開拓や新製品の開発に取り組みため、翌年から新卒者採用を復活するようにになりました。新卒者の募集に当たっては、就活支援サービスは利用せず、中西さんが自ら工業高等専門学校など近隣の学校を訪問し、人材確保に努めています。

インターンシップも10年以上前から取り入れており、近隣の工業高等専門学校などから生徒を受け入れています。中西さんは、「弊社はやるべき仕事は設計と決まっています。学生さんたちは2週間のインターンシッ

プをとおして、設計という仕事に絞って、それが本当に自分に適しているかどうか深く考えることができます」と語っています。

応募者の採否は二度の面接選考で決まります。一次、二次ともに面接官を務めるのは30代のリーダー格の社員や幹部社員で、中西さんは直接選考には関わりません。「学校を訪ねて学生たちと接している私よりも、客観的な評価ができると考えています」(中西社長)。

新入社員たちは半年間にわたり週1回行われる外部講師による座学講義に参加し、カリキュラムに従って社会人としての常識や基礎技術などを学びます。また入社後1年間は、先輩社員が専属トレーナーとして新人のサポートに当たります。

多角的な人材開発制度で レベルアップを図る

新協電子では、各自の能力レベルを把握するため、200余りの項目で能力を評価するスキルマップを作成しています。まず社員各自が自己評価を直属の上司に提出します。直属の上司は自分で検討するだけでなく、隣接する部門の上司と交換してその評価が適切かどうかを判断します。最終的な評価は中西さんが行い、給与水準と関連付けられます。

このスキルマップは公表されるため、社員たちは現時点での自分の能力のレベルを知り、次のステップに進む

ためのモチベーションにつなげています。

また、同社の特色ある取り組みの一つが、月に1回、ミスを発表し合う場が設けられていることです。これはどのようなときにどんなミスが起きるのかを社員間で共有して、業務の改善を図ることを目的としています。

同社では、これまでの技術的なノウハウや失敗事例をデータベース化し、キーワードでそれらを検索できるナレッジシステムを構築しています。これにより様々な場面での迅速な対応が可能となっています。また、オンラインのコミュニケーションツールを導入したことで、社員間の連絡が密になり、必要などときにはいつでも質問やアドバイスができる体制を取っています。

さらに、様々な勉強会も開かれており、同業他社を退職した高い技術・知識を持つ人物を講師として招いたり、社員たちが独自に勉強会を開くこともあります。マネジメントを学ぶ外部研修に社員を派遣することにも積極的です。外部研修受講終了後には、自分の成長を確認するためのプレゼンテーションを行う報告会が開かれ、社員のほか、外部講師や地域の商工会の関係者も参加します。

中西さんはこうした人材開発制度で育った社員たちを「逸材」と呼んでいます。そこには「弊社の社員たちは人材を超えた能力を身につけている」という自負がうかがえます。

社会構成主義時代の企業研修について



浅野衣子

株式会社キャリア開発サポーターズ
代表取締役

あさの・きぬこ ●株式会社キャリア開発サポーターズ代表取締役、キャリア開発カウンセラー（JICD・キャリア開発研究センター認定）、キャリアコンサルタント、認定スーパーバイザー（日本キャリア・カウンセリング学会認定）、ナラティブ実践協働研究センター スターティングメンバー、地域若者サポートステーション事業専門委員会メンバー

4回シリーズの連載で、今回が最終回となります。第1回目は「コミュニケーションって何?」、第2回目は「コロナ禍の研修現場の変化とコミュニケーションについて」と題して、企業研修におけるコミュニケーションをテーマに述べ、第3回目は「時代の変化と共に変化するもの、変化しないもの」と題して、研修の意味や目的をきちんと伝えることの大切さをお伝えしました。

今回は変わりゆく時代の企業研修において、「社会構成主義時代」という視点から企業研修について書いてみようと思います。

「社会構成主義」という言葉はある程度浸透してきているように感じています。これ自体を説明するだけで紙面が終わってしまいかねないので、極々簡単に解説することにします。19世紀の産業革命以降20世紀は「本質主義時代」と言われ、ものごとには容易に変化しがたい普遍的な本質が備わっていると考える立場から様々な取り組みがなされてきた時代でもありました。それが20世紀後半から21世紀にかけて「社会構成主義」という考え方がインパクトを持って登場し、大きくパラダイムが変わってきました。社会構成主義の第一人者として多くの著書を発表しているケネス・J・ガーゲンはそのように述べています。

「われわれが日常、『本当』だとか『良い』とか判断するときの基準は、社会や人間関係の中に埋め込まれている」「われわれの現実感、『われわれが用いている言語体系によって導かれ、同時にそれによって制約されている』

というものである。自己と他者、そして、世界をどう捉えるかは、人々の間で共有されている言葉のやりとりや語り方の慣習によって決まってくる」(参考文献(1)13、14頁)

「社会構成主義の基礎的な考えはともシンプルなようでいて、非常に奥深くもあります。私たちが『現実だ』と思っていることはすべて『社会的に構成されたもの』です。もっとドラマチックに表現するのなら、そこにいる人たちが、『そうだ』と『合意』して初めて、それは『リアルになる』のです」(参考文献(2)20頁)

一つの例を示すと、企業研修において2000年以前は「時間のギリギリまで研修をやってください。アンケートはその後で結構です」と言われていたのが、近年は「アンケートまで記入させて時間までに終わってください」と言われるようになりました。これはある企業の例ですが、時間の概念が明らかに変化してきたことを示していると思います。すべての企業とは言いませんが、2000年以前は上司より早く帰るのがはばかられていましたが、近年では上司が「早く帰れ」と言ってくる、といった従業員の声をよく耳にします。私たちが「本当」だとか「良い」と判断する基準は、関係性の中で構築されるもので、世代や文化によって受け取っているものが異なるということを表しています。

文化と一言で表現していますが、育ってきた環境や企業全体や部署によっても文化が異なっているのではないのでしょうか。それだけに、より言葉を大切に表現したり、一人ひとりがど

のような意味でその言葉を捉えているのかに心を馳せる必要があるのではないのでしょうか。それゆえ、近年では多様性を重視するだとか、ダイバーシティという取り組みがなされたり、組織内では1on1ミーティングの取り組みがなされているのだと思います。

企業研修というと多数を対象に研修を組み立てるので「一人ひとり」に対しての働きかけができないのではないかとわれがちですが、伝える側（講師や企業）は、言葉を丁寧に、意味を丁寧に伝える努力が必要です。また研修参加者の年代がどのような文化の中で育ってきているか、何を受け取ってきたのかをある程度事前に把握し、研修中の参加者の発言に対して、その言葉が持つ意味を丁寧に語れるように働きかけることが重要なのではないのでしょうか。お互い「わかったつもり」にならない努力がこれからの企業研修には求められるのではないかと思います。そのためには対話が必要です。「社会構成主義時代」の企業研修は対話を重視した研修の組み立てが大切だと考えます。

4回シリーズで、コミュニケーションを中心に述べさせていただきました。読者の皆様の一助になれば幸いです。

※参考文献

- (1) McNamee S & Gergen K. J. 1992 年／野口、野村訳「ナラティブ・セラピー」2014年邦訳 遠見書房
- (2) Gergen K. J & Gergen M. 2000 4 年／伊藤監訳「現実はいつも対話から生まれる」2018年邦訳 ディスカヴァー・トゥエンティワン

情報発信を強化し 人と企業が求める職業訓練に取り組む



福井県立福井産業技術専門学院

設置・運営 ● 福井県
所在地 ● 福井市林藤島町20-1-3
訓練課程 ● 自動車整備科・総合職業科・ビジネス実務科・設備保全科・シニアワーキング科・ワークサポート科



自動車整備科



総合職業科

福井県立福井産業技術専門学院は、福井県が設置している2校の職業能力開発校の一つである。

県北部に設置されており、高校新卒者などの若年者からセカンドキャリアを目指す高齢者まで、幅広い年代の求職者に対し、専門的知識・技能を習得するための職業訓練や就職支援を行っている。

また、在職者に対する技能向上等の職業訓練を実施しており、県内の産業ニーズに対応している。

若年者向け訓練

若年者向け訓練として、自動車整備士を目指す「自動車整備科」、各自がコース選択を行う「総合職業科」の2コースを実施している。

「自動車整備科」は、2級自動車整備士の国家資格取得を目標に、EV車から建設機械まで多種の教材車を活用し、器具の取扱い、整備方法（診断・分解・点検・組立・調整等）の訓練を実施している。また、若年者ものづくり競技大会へ出場するなど、整備技能の向上を目指している。

「総合職業科」は、会社見学や職業体験により様々な職業を理解した上で、訓練生自らが受講する訓練コースを選択する、特長のある科である。選択コースとして、機械加工や溶接を行う製造系とOA操作や販売などのサービス系の2コースがあり、選択後は、各分野

に関連する知識や技能を習得する訓練を約10カ月にわたって行っている。

離職者訓練

女性や中・高年齢者など、様々な方への職業能力開発が行えるよう、次の3つのコースを実施している。

グラフィックソフト（フォトショッパ、イラストレーター）の使い方や、ラッピングなどの商品販売、フォークリフトや物流管理など工場・倉庫での現場実務に関する訓練を行う「ビジネス実務科」、電気工事・ボイラー技士など電気設備や保守管理に関する訓練を行う「設備保全科」、そして販売・清掃・軽作業など比較的身体への負担が少ない働き方を目指す中高年向けの「シニアワーキング科」である。

障がい者向け訓練

精神障がいや発達障がいのある方を対象とした「ワークサポート科」を施設内で実施している。ワード・エクセルといったパソコンスキル、ピッキング・検品といった物流管理などの専門スキルに加え、生活リズムの安定を図るための基礎体力づくりやコミュニケーション・シミュレーションなど、就労のために必要なスキルを身につけ、安定就労を目指している。

在職者訓練

電気、機械、自動車に係る新入社員

向けの長期訓練（実施日数は2日から14日）、電気工事士など資格取得対策の訓練、CAD操作など知識・技能向上のための訓練、外国人技能実習生に対する溶接の技能向上訓練を実施している。

企業からの要望に応じたオーダーメイド型の訓練にも積極的に取り組んでおり、溶接、安全作業、機械加工、機械保全などを実施している。また、企業の要望によりオンラインでの訓練も対応している。

今後の課題

高校新卒者など若年者の入校応募者の減少が恒常的に続いていることに対する広報活動の強化、障がいのある方や中高年の方、外国の方など多様化する職業訓練ニーズに対する就職に有効なカリキュラムの設定、人手不足等により従業員教育を十分に行うことが困難な企業に対する支援、さらには、AI・IoTといった社会全体におけるDXの加速化に伴うIT人材の育成がある。

当学院は、情報発信の強化の一つとして、訓練の日常風景をインスタグラムやYouTubeで発信し、施設の透明化を目指している。それにより、多くの人と企業に注目してもらうことで、知名度の向上や職業訓練への要望把握に日々努め、県内産業に貢献していきたい。

学生一人ひとりにきめ細かい支援を実施し、高い内定率を維持する取り組み

中国学園大学・中国短期大学
就職支援部 部長
山口裕行



1 本学の概要

本学は1962（昭和37）年に岡山県岡山市で開学し、今年で60周年を迎える歴史ある学園である。短期大学としてスタートし、2002（平成14）年に大学を開学した。さらに、2006（平成18）年に現代生活学研究科の大学院を、2011（平成23）年に子ども学研究科の大学院を設置した。今ではその2つの大学院研究科をはじめ、大学3学部3学科、短期大学3学科を設置する学園を形成している。学生の多くは地元岡山および近県から通学しており、地元可愛される学校といえる。

2 本学の就職支援

毎年、高い就職内定率を維持し、学生一人ひとりが満足した就職ができるように、目標を設定し、学生支援体制を強化している。今年度は次の6点である。

(1) 各学部・学科の教員と就職支援センターの職員との連携を強化

本学の学生の特長は、素直で指示されたことをきちんと行う。しかし、おとなしい学生が多く、就職を意識するまでに時間を要している。そこで、学生と就職担当部署である「就職支援センター」の職員との意思疎通がとても大切となる。

昨年から、一部の学科で早期に面談

を実施したところ、今年度の内定率に大きく影響していることが分かった。今年度は、早期面談の学科の幅を広げていく予定である。学生の就職に対する意識が向上し、自ら行動することは、本学の教育理念「自律創世」に沿っており、今後継続して実施していく所存である。

(2) 就職活動の支援の工夫と充実

新型コロナウイルス感染防止対策が各企業に浸透し、就職説明会および就職面接の一部または全部がオンラインとなった。これにいち早く対応し、本学就職支援センター内にオンライン専用室を設置。学生は事前予約により利用している。本年度の4月には、昨年度同月の3倍の利用があった。

(3) 就職ガイダンスの工夫と改善・充実

新型コロナウイルス感染症対策に留意して実施している。ソーシャルディスタンスの確保、ガイダンス開始前の教室および学生入室時の消毒。また、一方的な講義からワークや演習等の動きを取り入れたものに変更。事前申込制で、座席指定等の工夫および複数教室で実施。さらにはオンラインと並行で実施している。大学生については、2年生、1年生の参加も可能としている。

(4) インターンシップの推進強化

新聞に、インターン情報を採用に活用するという記事が掲載された。そこで、2度にわたりインターンシップに

関するガイダンスを開催し、参加学生に対しインターンシップの重要性を訴えている。今後は新規事業として、「オンライン開催・学内インターンシップフェア」を計画している。

(5) 就活サポーターの活動内容の充実
学生の中から、学内ガイダンス等の「司会」、シンポジウムの「パネラー」、「アドバイザー」として、後輩のために自分の経験等を活かしたサポートをしている。この経験は、社会に出た時に必ずといっていいほど役に立っている。

(6) 外部組織との連携推進

岡山公共職業安定所（おかやま新卒応援ハローワーク）との連携により、例年10月から翌年1月まで「出張ハローワーク」を実施している。就活に出遅れたと感じている学生に相談を促し、内定を獲得している。

さらに、就職情報会社や日本私立大学協会、全国私立大学就職指導研究会、日本私立短期大学協会等、他団体との交流を密にする中で、各種の情報収集を行うとともに、その情報を学生に対してはもちろんのこと、就職支援委員の教員にも共有している。

以上のように、就職支援センター職員一同、一人ひとりの学生と向き合い、希望する進路に就けるよう、きめ細かいバックアップ体制と様々な取り組みに挑戦している。

「労働観」ではなく、「勤労観」を

東洋大学経営学部 非常勤講師

玉川大学 教師教育リサーチセンター 非常勤講師

千葉吉裕

内閣府が全国の16歳から29歳までの男女に、仕事の目的を聞いたアンケートがある。その一番は、「収入を得るため」という回答だ。二つまで回答できるしくみなので、もう一つは次のいずれかを選んでいる人が大多数の結果になっている。「仕事を通して達成感や生きがいを得るため」「自分の能力を発揮するため」「働くのがあたりまえだから」「人の役に立つため」。

この結果を、あなたはどうか考えますか？

職業には、「生計維持」「個性の発揮」「社会的連帯の実現」という三つの側面があるとされている。これは、渋沢栄一の孫である尾高邦雄（東京大学文学部名誉教授）氏が戦前から主張してきたものだ。この職業の三要素から、アンケート結果をみれば、職業を通じて働くことは「生計維持」に偏り、「個性の発揮」「社会的連帯の実現」という側面が希薄になっているように感じる。

人生100年時代と言われるようになり、若者は変化の激しい中、長い職業生活を過ごすことになる。働くことを単に金を稼ぐための手段としてしまうと、人生の彩りを欠くことにもなりかねない。まして嫌々働くのでは人生をつまらないものにしてしまう。今、work as lifeと言われるように、仕事と生活を一体化し、仕事を通じて喜びや楽しみ、充実感や達成感を得るようなものにしなければ、人生を豊かにすることはできないとされている。アンケートの結果をみると、若者は働くことを生計維持の手段としか考えていまいか心配になってくる。

学校教育において、勤労観の形成は重要な教育目標の一つになっており、学校行事、学級活動やホームルーム活動、総合的な学習の時間などで実践が行われている。これらの実践を通して、子どもたちに勤労の尊さや生産の喜びを体得させるとともに社会奉仕の精神を養うことに努めている。しかし、本来これらの体験は、家庭や地域が果たさなければならぬことではなからうか。職住一体の家庭では、一家総出で働くことがあるし、すべての家庭には家事手伝いがある。学校での教育実践より家庭教育の実践のほうがはるかに効果的であることは想像できよう。今日、社会は大きく変化し、それにより家庭や地域社会を大きく変えてしまった。

そして、働くことの意義を家庭で体感する機会が減りつつある。それを踏まえて、学校では体験の機会を確保し、充実させている。かつて意識することなく日常で体験していたものを、教育内容として学校で体験することは、子どもたちへの影響は少なからずあろう。

文化の側面から働くことを考えてみよう。キリスト教では「働くことは苦役」と聖書に記されており、働くことを他者に強要する奴隷制度が他国には存在している。一方、日本では神様自ら働き、働くことを神聖で尊いものと捉えている。八百万の神々は天上界で農業や漁業に勤しんでおり、神々の行いを自分たちが行えるという尊さや喜びを感じるという伝統が存在しているのが日本である。役所や御所で働くことは「仕える」と言い、武家や商家で働くことは「奉公する」と言っていた。

「仕える」も「奉公する」も働く側に主体がある言葉遣いであり、「雇われる」といった受動的な態度ではないことも特筆すべきことだろう。

法律をみると、日本国憲法にも教育基本法にも「勤労」という言葉が用いられており、「労働」という言葉は一切用いられていない。古来から用いられていた「勤労」という言葉が、日本の最高法規に記されていることは非常に重要だ。

明治時代になって登場したとされる「労働」という言葉は、近代化にともなって出現した。明治時代の海外の書籍の邦訳をみると、働くことを金銭と交換できるモノとして取り扱う時、「勤労」ではなく「労働」を用いているように思う。英語では「労働」にworkをあて、「労働」は、厚生労働省の英語表記からもわかるように、labourをあてている。labourという言葉を明治時代、機械的に「労働」と訳したのかは英語の専門家に任せたいと思うが、当時訳者はlabourが日本で伝統的に用いていた「勤労」のニュアンスと異なっていたと感じたのだと思う。

働くことを子どもたちにどう教えるのか。これは非常に重要なテーマである。それは、要領よく稼げるようにすることではない。収入を得る手段としてのみ働くことを捉えるのではなく、生きがいややりがい、喜びを感じさせること、それが勤労観の形成である。内閣府のアンケート結果をみると、「勤労観の形成」が、優秀な稼ぎ手としての労働者の育成になっていないか心配になってくる。

寄る辺なき世代を憂う ～アイデンティティ拡散に追い込まれた末の暴発事件～

1 若者が社会とつながる道程

若者が望む一番の生活スタイルは、ワークライフバランスである。

卒業前の大学生に尋ねると、ほぼ9割がそう答え、各種調査もそれを示す。また、働くことで達成したいことの1位は安定した生活(64.5%)、2位は自己の成長(60.6%)である(2022年入社の新入社員意識調査3,659人、ラーニングエージェンシー社)。

この安定した生活、すなわち自活可能な収入を得て、若者は初めて社会で生きる自信を得る。私も口座に振り込まれた一定金額を見て、社会人に成れた実感を覚えたものである。この自活可能な収入を得るには、職業アイデンティティの確立が必須となる。

職場で仲間として受け入れられ、仕事で役に立つことができ初めて、アイデンティティは確かなものになる。人はまず仕事で社会と繋がるのだ。だが、今の社会は、若者がそうなれる構造になっているだろうか？

2 職業アイデンティティ確立期間の長期化

現在の職業は、高度に専門化している。それは知識と技能の習得が長期にわたることを意味する。単純労働はロボットに置き換えられ、データ蓄積による問題解決型の頭脳労働は、人工知能が担う。クリエイティビティと、ホスピタリティと、マネジメントの3領域が、未来で人が担う仕事といわれる。

この長期化する職業アイデンティティの獲得プロセスが用意されず、職場定着がままならない社会構造が、バブル崩壊後ずっと顕著に続いてきた。その結果生まれたのが失われた世代、ロスジェネレーションの若者群である。

3 失われた世代～ロスジェネ世代が引き起こした事件

2022年7月、安倍元首相が無職のYに殺害された。41歳のYは、「旧統一教会に家庭を壊され恨みがあつた。この教会と関係が深い元首相を襲えば、教会に批判が集まると思った」と供述した。

この旧統一教会は1980年代から既に社会問題化していた。正体を隠して接近し、人間関係を作った上で洗脳し、高価な霊供養の商品を売りつけ多額の献金も強要した。Yが11歳の時に入信した母親は、総計1億円の献金を行い、家庭は破産し、食べるものも事欠く日々になったという。

1980年生まれYは、失われた世代である。秋葉原無差

別殺傷事件の加藤死刑囚(1982年生)や京都アニメ事件の青葉容疑者(1978年生)もロスジェネ世代である。彼らは、バブル崩壊後、氷河期と言われるほどの就職難や雇用の不安定に襲われてきた。今や労働者の4割近くが非正規労働者である。この非正規労働者は、賃金が低く、何より能力開発の機会が提供されない。若者の困窮はこの社会構造が原因なのに、自己責任という名の下で、長い間放置されてきた。

いつ雇い止めになるのか不安。同じ仕事なのに正社員より賃金が低い。成長したいのに職業発達ができない。正社員になれても、今度は長時間労働を強いられ、ワークライフバランスどころか、心と身体が危い。日本の職場の強みだった連帯によるOJTは、今や機能不全の状態だ。

労働者は経費削減の対象と化し、派遣の現場では、「あんた」と名前さえ呼ばれない。「労働は商品にあらず」との国際労働機関の宣言は今や窒息状態。職場に安心感と信頼感が失われ、うつ病等の精神疾患による休業が、日常化している。

4 Yの人生とアイデンティティ

有名進学高校出身のYは、消防士になるため親類の援助で公務員予備校へ入学。筆記試験は合格したが、実技試験で落ちる。そこで、親族のすすめで任期制の海上自衛隊に入隊した。が、3年後に自殺未遂を起こし除隊する。

その後は、派遣等で働きながら、宅地建物取引士やFPの資格を取得した。職業定着による生活安定に向けて努力をしていたのだ。母は宗教活動で家におらず、妹と彼が残されたが、その妹とも4年間会わないまま、アパートで一人銃を密造していたのだ。

逮捕後Yは、「金がなくなり、今月中には死ぬことになると思った」と供述した。職場で人と繋がらず、家族にも頼れず、Yは孤立感を深めていただろう。断片的な職業体験しか持てず、未来は先細るばかりで絶望感を深めていったのは想像に難しくない。ブログに「銃が喉から手が出るほど欲しいのだ。なぜだろうな？」とYは書いた。

無力感も深かっただろうYは、社会の中核の象徴的な人だった元首相に銃口を向けた。それは、働き盛りの年齢になっても一向に職業自立が果たせず、追い詰められた末の絶叫でもあった。Yがこの果てに得た確かなアイデンティティは、元首相殺害容疑者という誠にやるせないものとなった。

放置せず、彼に手を差し伸べ、寄り添う社会構造があったならば、この悲劇は決して起こらなかったのではないだろうか…！

「やりたいことができない」から 「納得のいく進路」へ

**加藤 駿**

駒澤大学 キャリアセンター

これまで、人気企業を第一志望として就職活動始める学生を支援者としてたくさん見てきましたが、その希望通りに内定し、就活を終える学生はほんの一握りでした。とはいえ、その一握りから漏れてしまった学生の全員が不本意な形で就活を終えているかという、そういうわけでもないと感じています。

では、第一志望から漏れた学生は、どのようなプロセスで就職先への納得感を高めていくのでしょうか。今回はその一例をご紹介します。

●Dさんの事例

初めてDさんが相談に来たのは、4年生の7月頃だったと思います。出版社一本に絞って就活を進めていたのですが、全てダメになってしまったので、これから先どうしようという内容でした。人気企業ばかり受けて就活が難航するケースにはよく遭遇してきたので、Dさんに言うことは決まっています。「幅広くいろいろな企業を見て、自分に合った企業を探しましょう」。

Dさんも、そうしたいと内心は思っていたようですが、まだ何か釈然としない様子でした。やりたいことができないなら、知名度が高かったり、周囲から褒められたりするような企業に入りたいと言うのです。そのような思いが、「自分のことをしっかりと理解して、自分に合った企業を探そう」という意欲に蓋をしてしまったのかのかもしれない。

■主体的な活動がもたらす「納得感」
思うように就活が進められず、不安

や焦りが大きくなってきたDさん。9月に「企業を紹介してほしい」と再度相談に来ました。

私がどのような企業を希望しているか聞いたところ、「やりたいこと（出版の仕事）ができないので、とにかく内定を得て安心したい」と言っていました。正直なところ、方針がわからず、紹介するのも苦労したのでよく覚えていません。就活に対する焦りからか、企業のネームバリューに対するこだわりは薄くなってきていましたが、まだ自分の希望についてはハッキリしていない様子でした。

その後は就活エージェントにも登録し、とにかく勧められた企業を受け続けていましたが、次第にそれらの企業に疑問を持つようになります。選考が進み、いざ内定が得られそうになると、給料や休日、将来の暮らしのことなど、それまで気にしていなかったことが気になり始めたのです。

そして、それぞれの企業と自分の気持ちとを丁寧に照らし合わせているうちに、「人に関わって、感謝される仕事が見たい」という思いにも気がついたようです。

ここからのDさんは、少しずつ自分の希望に合う企業を主体的に探すようになりました。悩む様子も見られず、前向きに活動している姿が印象的でした。

少し経って、紹介を受けた企業からも内定を得ましたが、最終的には自分で見つけた事務職の仕事に決めて就職活動を終えています。

■学生の「心の溜め」となる支援を
こうしたプロセスをあらためて振り返ってみると、「主体的に動き出す」ということが納得感を得るポイントになるように思えます。いくら「早めに広い視野を持って動き出すように」と強要しようとしても、学生本人がその必要性に気がつくような経験を経ないと難しいと言えそうです。

では、学生が主体的に動けるようになるまで、支援者ができることはないのかという、そうではないと思っています。

Dさんは出版社が全てダメになった段階で、キャリアセンターや就活エージェントに相談するようになりました。そこでのアドバイスが効いたという面ももちろんあったと思いますが、「精神的なゆとりができた」という効果が大きかったのではないのでしょうか。

「出版社」という明確な目標があるうちは、Dさんは一人で就職活動を進めてきたと言えます。自分の活動に対して振り返り無念の思いを誰かと共有できず孤立するのは、精神的にも負担が大きいです。精神的にも負担が大きいことだと思えます。精神的な負担を誰かと共有できた時、背中が軽くなって自然と自走できるようになったのではないのでしょうか。

新卒一括採用で時期が決まっている中で、学生は焦らされこの過酷な道に挑まなければなりません。支援者はその険しい道のりを伴走することで、「心の溜め」になることができるのだと思います。伴走支援で学生が粘り強く探索を続けることができれば、試行錯誤しながら「納得のいく進路」が開けるのではないかと考えています。

著者による解説講座(オンライン)

「キャリアコンサルティング 理論と実際 6訂版」連続講座

昨年5月発刊の「キャリアコンサルティング 理論と実際 6訂版」では、5訂版から大幅な改訂がなされ、情報の更新とともに新たな内容も盛り込まれています。読者の皆様より講演会や解説講座等のご要望も多く寄せられており、このたび著者の下村英雄氏による解説講座を開催することといたしました。

今回は「キャリアコンサルティングの諸理論」及び「システムティックアプローチ(技法)」について、各2回のシリーズで下村氏に解説いただきます。紙数の都合で載せきれなかった内容、この講座でしか聞くことのできないお話や、実際にキャリアコンサルティングで活用する際の視点なども含めてご講義いただく予定です。

キャリアコンサルティングについて勉強を始めたばかりの方からベテランの方まで、6訂版のポイントへの理解を深めながら、知識の幅を拡げ、実践につながるヒントを得ていただける内容です。この機会に是非ご参加ください。



講師 下村 英雄氏

独立行政法人 労働政策研究・研修機構
職業構造・職業指導部門 副統括研究員

形式 Web会議システム「Zoom」を用いたオンライン形式

受講料 各回5,000円(税込)

資料代 「キャリアコンサルティング 理論と実際 6訂版」
定価3,520円(税込)→ 講座特別価格3,200円(税込・送料込)

*「キャリアコンサルティング 理論と実際 6訂版」をお持ちでない方は、講座お申込み時に、併せて書籍購入をお申し込みください。すでにお持ちの方はご購入の必要はありません。

「キャリアコンサルティング理論と実際 6訂版」をテキストに、該当する部分について詳しく解説していただきます。

回	日時	内 容
第1回	1月27日(金) 13:30~16:00	キャリアコンサルティングの諸理論-1 第3章: 第1節~第4節 (p.58~p.85) (特性因子論、キャリア発達理論、ナラティブアプローチ・キャリア構築理論)
第2回	2月17日(金) 13:30~16:00	キャリアコンサルティングの諸理論-2 第3章: 第5節~第6節 (p.86~p.107) (意思決定理論・学習理論・自己効力感、多文化・社会正義論)
第3回	6月16日(金) 13:30~16:00	システムティックアプローチ-1 第14章: 第1節~第2節 (p.370~p.383) (いろいろなカウンセリング技法、プロセス・目標設定)
第4回	7月7日(金) 13:30~16:00	システムティックアプローチ-2 第14章: 第3節~第5節 (p.383~p.404) (方策の実行、成果の評価、一般的指針)

*「キャリアコンサルティング 理論と実際 6訂版」第3章と第14章、各2回のシリーズですが、1回のみのご参加も可能です。

●詳しくはホームページでご確認ください。お申込みもサイト内専用フォームからできます。

<http://www.koyoerc.or.jp>

一般社団法人 雇用問題研究会 <http://www.koyoerc.or.jp> 〒103-0002 東京都中央区日本橋馬喰町1-14-5 ●電話 03-5651-7072

4,400名
受講済

【CCA】キャリアコンサルタント向け知識講習 (Web)

1対1の対人支援にとどまらず、組織開発・組織活性化、人事との協業といったテーマを真正面から見据えたWeb学習(厚労大臣指定キャリアコンサルタント更新講習)です。実践に基づいた講師陣の知見や豊富な事例が、実際のキャリア支援の現場で役立てられることを強く意図しています。

講師: 慶應義塾大学名誉教授 花田光世先生 (ほか) 各領域の第一線の学識者・専門家による講義



厚労大臣指定更新講習40講座! 詳細は学習専用サイト 「CCAのキャリアコンサルタント学習情報」で検索

特定非営利活動法人キャリアカウンセリング協会 研修担当 Tel 03-3591-3569

~ CCAは、「プロ(専門家)のキャリアカウンセラー/キャリアコンサルタント」の養成、スキル向上、指導者養成までを、体系的に行っている専門機関です~



VRT 職業レディネス・テスト

VOCATIONAL READINESS TEST

編著 ■ 独立行政法人 労働政策研究・研修機構

対象 ■ 中学・高校・高専・専門学校・短大・大学・職業訓練校・職業相談機関等

職業への興味・関心を通じて「自分自身」を考えることをサポート

VRTでわかる職業への興味と自信の方向

- R** 機械や物を対象とする具体的な活動
- I** 研究や調査などの活動
- A** 音楽、美術、文芸など芸術的な活動
- S** 人と接したり、人を援助する活動
- E** 新しい企画を考えたり、組織を運営する活動
- C** 定まったやり方に従って行う事務的な活動

VRTでわかる日常生活での興味の方向

- 情報** 知識や情報、データに関わる活動
- 人** 人と直接関わる活動
- 物** 機械や道具などのものを扱う活動

コロナ禍で
職場体験、就業体験が
中止・縮小されても、
VRTの実施が
キャリア教育に
大いに有効です！

1名分料金(税込)

中学生 高校生	● 問題用紙	}	300円	}	640円
	● 回答用紙(中学生用/高校生以上用)				
	● 結果の見方・生かし方				
	● コンピュータ判定料……………	340円			

大学生 社会人	●問題用紙	}	360円	}	660円
	●回答用紙(高校生以上用)				
	●結果の見方・生かし方				
	●大学生等のための職業リスト				
	●コンピュータ判定料……………	300円			

● 手引.....1,430円

